

第10章 東武寄居線（寄居～小川町）

東武越生線（坂戸～越生）

第1節 東武寄居線（寄居～小川町）

寄居(8:15)～玉淀(8:34)～鉢形(9:10)～男衾(10:00)～みなみ寄居～
東武竹沢(11:10)～小川町(12:05)

2005年8月14日（日）、炎天下の中、昨日と連荘で場所を大きく替えて東武東上線の未踏破線に挑戦する。すなわち、寄居＝小川町の寄居線 10.9Kmと坂戸＝越生の越生線 10.9Kmの2線である。計画としては、午前中に寄居線を終え、小川町から電車で坂戸まで移動し、そこから越生まで歩くコースとした。戦略的なコースのため、時間を要する可能性がある。それ故、4時過ぎに起き、南林間5時29分の始発電車で町田に向かう。そこから横浜線（町田5時46分）と八高線（八王子6時32分）で寄居に向かう。寄居駅には8時15分到着。寄居駅は今回で5度目である。これまで八高線・秩父線踏破でそれぞれ2回下車。これまでは4回は鉄道に向かい左側に進んだが、今回は右側に進むことになった。



※寄居駅

寄居線は八高線を通じ、平成13年5月から6月にかけて踏破済みであるが、東武線とは若干進路が異なるため急遽思いつく。越生線のみでは達成感が十分味わえないので、二つの支線をまとめて退治することにした。八高線や秩父線で踏破した玉淀駅には8時34分到着。今日初めて駅の案内版を見て知ったのであるが、東武線も荒川を横切っていた。八高線でこの荒川越えに苦労した記憶が蘇る。それ故、荒川に沿い歩きを400m位余儀なくされる。荒川を渡ると鉢形公園が右手に見えた。本日は鉢形公園を寄らず、

左折し東武線に近づく。左折すると深沢川を渡る橋（8時50分）が直ぐあった。鉢形駅には9時10分到着。山道の町道や林道を通り、国道254号に出る。塩沢の交差点から左折し、県道81号線（寄居熊谷線）を歩く。9時50分、道路の下で東武線を見つける。ここから鉄道につたい歩きして男衾（おぶすま）駅には10時到着。この駅は本日は一番クリアするのが大変な駅であったような気がする。昨日は「屏風」、今日は「衾」と偶然にしては出来すぎの組み合わせとなった。これらの駅は、来月結婚する息子にとり御めでたいキーワードとなった。



※玉淀駅、鉢形駅



※男衾駅、みなみ寄居駅

再度、国道254号に戻り、東武竹沢駅を目指す。山また山で林道では踏破はできないだろう。八高線ときは経験がなく「めくら蛇に怖じず」敢えて挑戦した日々がなつかしい。今日も線路に近づくという考えで美味しく難所を乗り越えてきた。東武竹沢への道でもう少しでとんでもない方向に進むところであった。国道上にJR竹沢駅への案内版を10時44分を見つける。その先に金勝山トンネルがあった。10時55分、道路の下（30m）を東武線が走る竹沢陸橋を見つける。50m位行った先、下に降りる道路がありそこから鉄道沿いに出る。500m位つたい歩きした先に東武竹沢駅（11時10分）があった。



※東武竹沢駅

炎天下でペットボトルを何本も必要であった。途中、ペットボトルをきらしたため、駅前での水分の補強は実にありがたかった。駅舎は近代的な建物であった。道路が鉄道に比べ高台にあった関係で、階段を下りる構造で設計されていた。駅前には東武竹沢郵便局や竹沢診療所があった。また、ここから小川町まで JR 八高線と東武線が平行してあった。本日改めて、非電化鉄道線のつたい歩きの難しさを感じた。それは鉄道の進路を示す電柱がないからである。小川町まで鉄道に沿う道があり、たんたんと歩く。突然右足の小指の豆がつぶれ痛みを感じる。何とか痛みをこらえ、小川町駅に 12 時 5 分到着（万歩計 35,985 歩）。小川町には八高線の際立ち寄ったマクドナルドがあった。12 時 14 分の池袋行きに乗り、坂戸駅まで移動する。冷房が効いた車内が疲れた体を癒してくれた。第 2 節（越生線）に続く！！



※小川町駅



第2節 東武越生線（坂戸～越生）

小川町から坂戸まで電車で移動

坂戸(12:50)～一本松(14:05)～西大家(14:35)～川角(15:22)～武州長瀬(16:05)
～東毛呂(16:35)～武州唐沢～越生(17:25)

2005年8月14日(日)12時50分、坂戸駅に到着。いよいよ午後の部のスタートである。駅前で昼食を摂ろうとするが、適当な店がなく先を急ぐ。13時30分、県道114号線(川越越生線)に出る。13時35分、十数年前ゴルフをした奥武蔵カントリークラブの看板を見つける。また、城西大学の看板も目にする。13時40分、一本松駅手前の暖簾亭(049-287-0088)で遅い昼食を摂る。窓から埼玉医科大学の看板が目立って見えた。客は私一人であった。奥様が親切にも3回程冷水を運んで頂く。また、親切にも店を出た際、店を出て一本松駅への近道を教えてもらう。一本松駅には14時5分通過。昨日も感じたのであるが、衆議院解散前にもかかわらず選挙関連ポスターを見る。安倍さんと山口たいめい氏が載っていた。また、油蟬の死骸を随所で見かけた。よく見ると食物連鎖で蟻が群がっていた。



※坂戸駅

14時30分、八幡神社の手前の看板で無形文化財「森戸のしし舞」を見つけるや否や西大家駅(14時35分)を見つける。ここから、1Km先の川角(かわかど)駅への歩きに神経を費やした。高麗川が立ち塞がりこれを越える橋を見つけるのに苦労した。川に沿って田園があり橋が見えない。坂戸西高校の周りを半周位して、父母会参加の方にこの川を渡る橋を教えてもらう。1m位の農道を100m位歩いた先に高麗川に沿う土手があった。若者二人が日光浴をしていた。300m位先に森戸橋を見つける。この橋は狭いため、車は交互で横断していた。橋の長さは100m位あった。橋を渡り左折し、鉄道沿線に戻る。500m位つたい歩きた先に川角駅(15時22分)があった。1Km歩くのに47分要した。



※一本松駅、西大家駅

埼玉平成高校・中学校を 15 時 30 分通り、武州長瀬駅には 16 時 5 分到着。炎天下の歩きのため、多少疲れを感じる。最後の難所と思われる越生川（伴六橋）を 16 時 20 分通過。意外にも川幅は 20m 位であった。東毛呂駅には 16 時 35 分到着。鉄道つたい歩きして 800m 先の武州唐沢駅のクリアに臨んだが民家・林が遮り鉄道のつたいができず。



※川角駅（かわかど）、武州長瀬駅



※東毛呂駅、武州唐沢駅

これにより、本日初めて武州唐沢駅の写真撮影に失敗する。16 時 55 分、八高線の踏切を通過し、県道 30 号に出る。毛呂川を 17 時 2 分渡り、越生駅を目指す。途中、県道

に沿い、八高線と東武線が並走する。3年前の記憶が蘇る。3年前も東武線を見た。それがどこであるか思い出せなかった。それがやっと本日記憶の整理ができた。偶然にも坂戸に向かう東武線と高麗川に向かう八高線の電車と対面する。やっとのことで越生駅には17時25分到着。駅前のトイレで汗だくのシャツを着替え、18時6分の非電車で自宅を目指す。乗り継ぎがよく、自宅には20時25分到着。電車の中で、右足の小指に激痛が走り、本日の充実感を味わえる余裕がなかった。右足をかばう帰宅となったが、やっと東上線を完全踏破できた。万歩計は74,100歩だった。



※越生駅（おごせ）